

St. Luke's International University Repository

WHOプライマリヘルスケア看護開発協力センター: 学術活動報告 (2000年度)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2007-12-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 菱沼, 典子, 田代, 順子, 森, 明子, 成瀬, 和子, 酒井, 禎子, 水野, 恵理子 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10285/397

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



学術活動報告（2000年度）

WHO プライマリヘルスケア看護開発協力センター

〈今年度の活動〉

1. グローバルネットワーク

1) 西太平洋地区でのネットワーク：看護アドバイザーとして Kathleen Fritsch が6月に赴任され、2000年度の Work Plan および1999年度の“Annual Report”を送付した。

世界とのネットワーク：本年は7月25日に2年ごとに開かれる世界中のWHO看護・助産開発協力センターの第10回センター長会議と続いて第3回グローバルネットワーク学術会議がセンター長会議の事務局のあるイギリスのマンチェスター大学の主催で開催された。本センターから菱沼センター長、WHO委員会から田代、成瀬が出席した。会議では事務局が任期途中で米国・ジョージメイソン大学に交代した。この会議の詳細は菱沼センター長が雑誌『かんご』のWHO NEWS に報告している。また、学術大会では昨年度厚生省科学研究「都市型プライマリヘルスケアに基づく看護モデルの開発」を成瀬委員が研究者を代表して発表した。

2) 国内のネットワーク：研究活動で千葉大学看護学部が開発途上国（タイ国）型での、そして聖路加看護大学が日本での都市型プライマリヘルスケアの看護モデル研究と協働して進めている。

2. 活動報告書（Annual Report）の作成

当センターの活動報告の10巻目として1999年4月から2000年3月までの研究活動を12月にまとめ、例年通り、国内関連、省庁および看護大学、国外関連機関に配布した。

3. 研究活動

2000年3月に看護の質の確保に関する研究：プライマリヘルスケアに基づく看護モデルの開発—都市型プライマリヘルスケア看護モデルの開発—を発表・報告した。この研究は上記7月のグローバルネットワークの学術会議でも英語で口演した。

4. 国内外への情報提供活動

1) 雑誌『かんご』に「WHO NEWS」隔月で掲載した。掲載誌の巻（号）（担当）は下記の通りである。

- 52（1）1月（森 明子） • 52（3）3月（酒井禎子） • 52（6）5月（押川陽子）
- 52（9）7月（成瀬和子） • 52（11）9月（水野恵理子） • 52（13）11月（菱沼典子）

2) WHO への情報提供

第49回のWHO総会決議 WHA 49.1 “Strengthening nursing and midwifery” [看護と助産の強化] についての各国の対応についてのアンケートがあり、それに回答した。

3) WPRO への情報提供

12月に“Adolescent Health”の日本での政策に関するアンケートがあり、それに回答した。

4) その他

6月25日～30日 スリランカより JICA 研修員1名を受け入れた。（小松教授担当）

7月3日～5日 サウジアラビアより JICA 研修員5名を受け入れた。（小山教授担当）

10月30日 韓国より WHO フェロー研修員1名を受け入れた。（川越教授担当）

（センター長：菱沼典子

委員：田代順子、森 明子、成瀬和子、酒井禎子、水野恵理子）